

国語科学習指導案（5年〇組）

平成24年10月12日（金）～10月30日（火）

5の〇教室 指導者 加藤 寿生

1 単元名 「自分の思いを新聞に書いて、読み合おう」 ～図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書く～

2 考察

(1) 教材観

本単元では、第5学年及び第6学年「B書くこと」の指導事項「エ 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書くこと」に重点を置きながら指導する。その際、「B書くこと」の言語活動例「ウ 事物のよさを多くの人に伝えるための文章を書くこと」を具体化し、自分の思いを新聞に書く言語活動を通して指導することとする。

国際社会の中で生きていくには、他国と議論を重ねて合意を形成し、課題を解決していかなければならない。このような能力を身に付けるための素地として、まず「自分の思いをもち、相手に分かるように表現する」ことが大切である。しかし昨今、各種調査等での記述式問題において、児童生徒の無回答率の高さが話題になっている。

協力校においても、学年が上がるにつれ、調べて分かったことや自分の思いを模造紙や画用紙、ノートなどにまとめる活動が多くなる。その際、自分で調べた本やWebページから文章、図表や写真などを引用して書く場面がある。ところが現状を見ると、丸写しするケースが多く、自分の思いを記述した部分は少ない。

そこで本単元では、自分の思いを書く力を高めるために、立場を変えて書く活動を取り入れることにした。これは、事実に対して、まず自分の思いと異なる立場から書いたのちに自分の立場から思いを書くことである。あえて先に自分の思いとは異なる立場から書くことによって、相手の立場に立って考えることの大切さを身に付けられると考えた。また、書く活動の際に、自分の思いを相手によりよく伝えるために、図表や写真を用いることにした。

同じ事実でも、置かれている立場によって、いろいろな受け取り方ができる。図表や写真を用い、立場を変えて書くことによって、自分が今まで気付かなかった視点が与えられる。相互の立場で書いた作品を比較、交流したのち、さらにもう一度深まった自分の思いを書くことによって、事実に対する自分の思いが深まり、ひいては物事を別の角度から見ることの大切さを学べるであろうと考えた。

中心教材として、教科書単元「情報の受け止め方を考えよう」の中の説明文「新聞の読み方を考える」を取り上げる。この説明文は、「作り手は読者の違いに応じて、内容の重点を考えて情報を加工する」ということについて、具体例を挙げて説明している文章である。筆者の主張を、同じ事実を報じた複数の新聞記事を見比べることで、とらえやすくなっている。そして最終的には、「他学級の児童に読んでもらおう」という相手意識や「見出しや根拠を明確にしてよりよく伝えよう」という目的意識をもち、一つのテーマについて相互の立場から新聞を作成する。

これらのことから、本教材は、児童が事実と意見の違いを読み取るとともに、自分の思いをもち、書くことに適していると考ええる。

(2) 児童の実態（男子18名、女子18名、計36名）

児童は、6月の単元「表やグラフを使って伝えよう—分かりやすく伝える—」において、表やグラフから読み取ったことを根拠に、文章をまとめる学習を行った。また、その直後には「分かったことを報告しよう」の単元で、テーマを決めて調べ、効果を考えながら表・グラフを活用した報告文をまとめる学習を行った。表やグラフからは事実をほぼ正確に読み取ることができているが、読み取った事実から自分の思いを文章に書く学習では、個人差が大きく、思いを書くのに苦労した児童が大半であった。

本単元で「図表や写真を用い、立場を変えて書く活動」を実施するにあたり、事前調査を行った。

全員の児童が、説明文を読む時に図表や写真があった方が分かりやすいと答えている。また、文章に合う写真を選ぶ課題では、ほとんどの児童が正しいものを選び、理由も適切であった。「林間学校にカメラを持っていくことに賛成か反対か」と、立場を選ぶ課題では、賛成派と反対派に分かれたが、自分の立場を決められなかった児童が19%いた。費用と所要時間の異なる旅行の交通手段を選び、理由を書く課題では、【いずれか一つについて書く・費用か所要時間を理由に書く・60～80字で書く・選ぶ方法

と理由が対応している・「～からです」で終わる】という条件で書かせたところ、すべての条件を満たして書けた児童は半数であった。

以上のことから、多くの児童は、文章の中に図表や写真が加えることが自然だととらえている。しかし、立場を求められる場面で決めかねる児童や、複数の条件を与えられて書く場面で条件を満たせない児童が目についた。

これは「はばたく群馬の指導プラン」小学校5・6年生の課題「事実、感想、意見などを区別して表現する」の解決に向けて伸ばしたい資質・能力「目的や意図に応じて、事実と感想、意見などを詳しく書いたり、簡単に書いたりすることができる」と合致している。

3 単元の目標

記事の違いを読み取るとともに、図表や写真を用いて自分の思いを記した文章を書くことができる。

4 授業中における生徒指導

- 相互の立場から新聞を書く場面では、先に自分の思いと異なる立場から書くようにし、相手の立場に立って考えることの大切さに気付くようにする。また、完成後は自他の作品を見比べ交流する時間を取り、友達の新聞の表現のよさに気付くようにする。

5 指導と評価の計画（8時間予定）

評価 規 準	<p>(1) テーマに対して自分の考えをもち、図表や写真を用い、立場を変えて新聞を書こうしている。 【関】</p> <p>(2) 思いを端的に表す図表や写真、キャプション、見出し等を用いて、立場を変えて相手によりよく伝わるような新聞を書くことができる。 【書】</p> <p>(3) 自分の思いをよりよく伝えるために、適切な図表や写真や言葉を使ったり、文のつながりや文章構成を工夫したりすることができる。 【言】</p>
--------------	--

次	時	主な学習活動	指導上の留意点及び支援・評価	関	書	言
1	1	<p><本単元の課題をつかむ></p> <p>① 新聞記事を見て関心をもつ。</p> <p>② サンプル新聞を見て、一つのテーマについて相互の立場から新聞を作成することを知らせる。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">「自分の思いを新聞に書いて、読み合おう」</p> <p>③ 図表や写真を用い、立場を変えて書く新聞の体裁等について理解する。</p>	<p>○ 学習の見通しがもてるよう、単元を貫く言語活動として「図表や写真を用い、相互の立場から新聞を書く活動」に取り組むことを知らせる。</p> <p>○ これから書いていくもののイメージがもてるよう、サンプル新聞を提示する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">【関】自分の思いを新聞にまとめる活動に進んで取り組もうとしている。(発言・様子)</p>	○		
	2	<p>④ 「新聞の読み方を考える」を音読する。</p> <p>⑤ 一般紙とスポーツ新聞の違いをまとめる。</p> <p>⑥ 全国版と地域版、地方紙同士の記事や見出しの違いとその理由を読み取る。</p>	<p>○ これから取り組む新聞作りに生かせるよう、新聞の見出しや記事には作り手の意図が表れていることをおさえる。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">【書】二つの新聞記事の違いについて、事実と意見の違いを明確にして表にまとめている。(記述内容)</p>		○	
	3	<p><課題を解決する></p> <p>⑦ テーマを知り、テーマについて調べる(図書・インターネット等)。</p>	<p>○ どの児童も円滑に書くことができるよう、教師があらかじめ参考図書や参考サイトを準備しておき、適切に助言する。</p> <p>○ 児童の興味・関心を引き、相反する二つの考えに分かれたテーマに決められるよう、いくつか提示した中から意見が多く出たものにする。</p>	○		

			【関】テーマについて進んで調べてようとしている。(調査内容・様子)		
2	4	⑧情報を共有し書き始める。 ・理由や根拠を出し合う。 ・どちらの立場で書くか決める。 ・自分の思いと異なる立場で書く。	○自分の思いと異なる立場からも書けるよう全体場で互いの考えやその理由を出し共有する。 ○自分の思いと比べられるよう、三つの根拠を挙げて書く。 【書】自分の思いと異なる立場から、相手によりよく伝わるような新聞を書いている。(記述内容・振り返りカード)		○
	5	⑨新聞を書く。 ・自分の立場で書く。	○自分の思いを明らかにできるよう、自分の思いと異なる立場も意識して書く。 【書】自分の立場から、相手によりよく伝わるような新聞を書いている。(記述内容・振り返りカード)		○
	6	⑩班で交流する。 ・自己評価したのち班で相互評価する。 ・自他の作品を見比べ交流する。 ⑪思いをまとめて書く。 ・交流を生かし、もう一度自分の思いを限られたスペースに端的に書く。	○自分の作品が推敲できるよう、観点に基づいて自己評価する。 ○交流で多くの視点が得られるよう、作品を読み合い、観点に基づいて相互評価する。 ○次の活動の参考にできるよう、コメントやアドバイスを付箋に書き新聞に貼る。 ○自分の思いを書く力が高められるよう、交流で得た多くの視点から適切なものを選択し、自分の思いをまとめ直す。 【書】最終的な立場を決断し、思いを短く書いている。(記述内容・振り返りカード)		○
	7	⑫新聞を仕上げる。 ・「思いをまとめて書く」新聞を完成させる。 ・台紙に貼付する。	○自分の思いを書く力が高められるよう、交流で得た多くの視点から適切なものを選択し、自分の思いをまとめ直す。 【書】最終的な立場を決断し、思いを短く書いている。(記述内容・振り返りカード)		○
3	8	<単元を振り返る> ⑬クラス間で交流する。 ・でき上がった新聞を互いに読み鑑賞する。 ⑭単元全体を振り返る。	○友達の新聞のよさに気付けるよう、鑑賞の時間をとる。 【関】よさや参考になった点についてプリントにまとめている。(記述内容・振り返りカード)		○

6 本時の展開 (1/8)

(1) ねらい

新聞記事に関心を持ち、一つのテーマについて相互の立場から新聞を作成することを知る。

(2) 準備

実際の新聞記事、サンプル新聞、ワークシート、ノートPC、自作プレゼンテーション

(3) 展開

学習活動	時間	指導上の留意点及び評価
<本時の課題を把握する>		
1 実物の新聞を提示し、新聞記事に関心をもつ。	15分	・一般紙とスポーツ紙を提示し、違いについて気付いたことを発表させるようにする。 ・見出しや写真から書かれている視点や重点が違うことを見つけ、新聞記事に関心をもてるようにする。

<p><課題を追究する></p> <p>2 一つのテーマについて相互の立場から新聞を作成することを知り、その体裁等について知る。</p> <p>自分の思いを新聞に書いて、読み合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人で両方の立場から書くななんて、おもしろそうだな。 図やイラストがあって、分かりやすい。 早く書いてみたい。 <p>○A4判横長縦書きで左右に半分ずつ相互の立場で書いたものと、A4判の四分の一の小さな紙に思いを端的に書いたものの二種類</p> <p>○右側に自分の思いと異なる立場で書く</p> <p>○左側に自分の立場で書く</p> <p>○A4判の四分の一の小さな用紙に、もう一度自分の思いを端的に書く</p> <p>3 自分の立場を決める練習をする。</p>	<p>27</p> <p>分</p>	<ul style="list-style-type: none"> サンプル新聞を提示することで、これから書いていく新聞のイメージがもてるようにする。 図表や写真を用い立場を変えて書く活動のイメージを正確に理解できるように、書く手順や構成、体裁について小出しに提示する。 <p>発問：この新聞にはどんなことが書かれていると思いますか？</p> <p>【関】自分の思いを新聞にまとめる活動に進んで取り組もうとしている。(発言・様子)</p>  <ul style="list-style-type: none"> テーマを与え、それに対する自分の立場を決め、理由を書くことで、これから取り組む活動に備えるようにする。 <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○○小学校は自転車通学を認めるべきである 宿題を廃止するべきである 犬は好きか嫌い レジャーに行くなら海か山か
<p><本時のまとめをする></p> <p>4 本時の学習を振り返り、分かったこと、気付いたこと、思ったことをまとめる。</p> <p><児童の姿></p> <ul style="list-style-type: none"> ○同じ出来事でも、いろいろな伝え方があるんだな。 ○新聞記事って面白そうだな。 ○自分にも書けるかな。 	<p>3</p> <p>分</p>	<ul style="list-style-type: none"> 次時は新聞について筆者の主張を考えることを伝える。

板書計画

<ul style="list-style-type: none"> 山か レジャーに行くなら海か 犬は好きか嫌い 宿題をやめるべきである みとめるべきである ○ ○ ○ 小学校は自転車通学を認めるべきである <p>思いを深めて書く</p>	<p>自分の立場</p> <p>⇔</p> <p>自分の思いとことなる立場</p>		<p>自分の思いを新聞に書いて読み合おう。</p>
--	---	--	---------------------------

6 本時の展開（2／8）

(1) ねらい

二つの新聞の違いについて、事実と意見の違いを明確にして筆者の主張を読み取ることができる。

(2) 準備

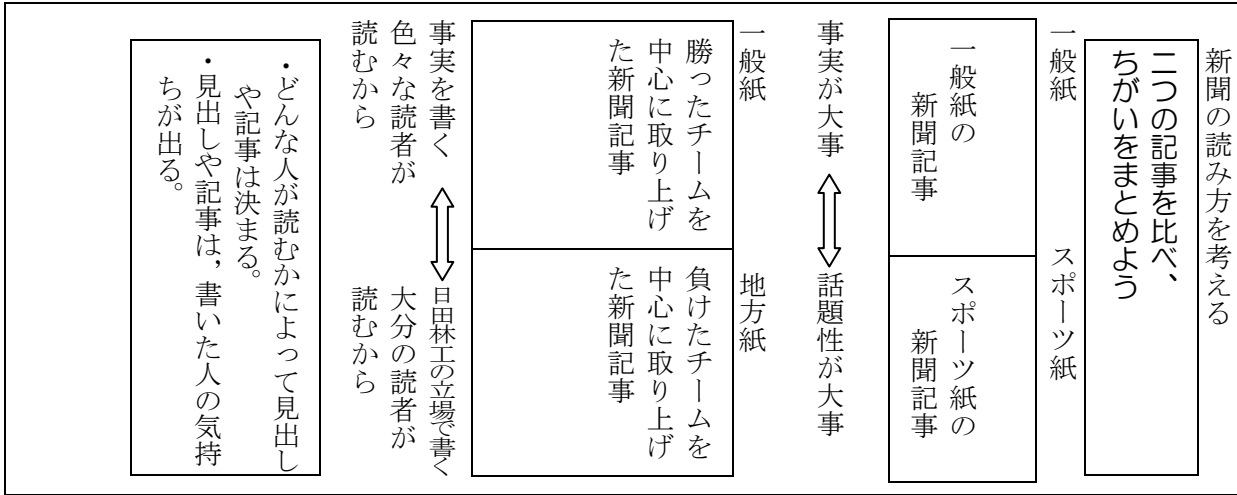
教科書（学校図書5年下），ワークシート（新聞記事の比較を表にまとめたもの）ノートPC，自作プレゼンテーション

(3) 展開

学習活動	時間	指導上の留意点及び評価																		
<p><本時の課題を把握する></p> <p>1 学習材「新聞の読み方を考える」を音読し内容を把握する。</p> <p>新聞による記事や見出しのちがいをまとめよう。</p>	15分	<ul style="list-style-type: none"> 教師が範読したのち、追い読みすることで、全員が声に出して教材文を読めるようにする。 																		
<p><課題を追究する></p> <p>2 一般紙とスポーツ紙を比べて違いをまとめる。</p> <p>（見出しに山田太郎の名前が、一般紙にないのにスポーツ紙にはあるなあ。 一般紙では、だれが救助したかどうかは大事じゃないのかなあ。 スポーツ紙では、事件のくわしいことまではあまり書いていないなあ。</p>	27分	<p>発問: 同じ出来事なのに、なぜ伝え方がちがうのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般紙とスポーツ紙の新聞記事を音読することで、記事内容を理解しやすくする。 教師が例示したのち、観点ごとに違いを表にまとめさせることで、違いに気付けるようにする。 <table border="1"> <tr> <td>観点</td> <td>一般紙</td> <td>スポーツ新聞</td> </tr> <tr> <td>見出し</td> <td>水泳選手が人命救助</td> <td>山田太郎、早くも金メダル?</td> </tr> <tr> <td>いつ</td> <td>7日午後4時ころ</td> <td>7日午後</td> </tr> <tr> <td>だれが</td> <td>西北大2年生 山田太郎さん</td> <td>今年4月の日本選手権百メートル自由型で優勝した、五輪出場候補で西北大2年生 山田太郎さん</td> </tr> <tr> <td>だれを</td> <td>同区に住む小学2年生の 娘（7）</td> <td>娘</td> </tr> <tr> <td>取材先</td> <td>都島署（警察）の発表 による</td> <td>山田選手による （インタビュー）</td> </tr> </table> <p>【書く】一般紙とスポーツ紙の記事の違いを、観点別にとらえてまとめることができている。（記述内容・発言）</p>	観点	一般紙	スポーツ新聞	見出し	水泳選手が人命救助	山田太郎、早くも金メダル?	いつ	7日午後4時ころ	7日午後	だれが	西北大2年生 山田太郎さん	今年4月の日本選手権百メートル自由型で優勝した、五輪出場候補で西北大2年生 山田太郎さん	だれを	同区に住む小学2年生の 娘（7）	娘	取材先	都島署（警察）の発表 による	山田選手による （インタビュー）
観点	一般紙	スポーツ新聞																		
見出し	水泳選手が人命救助	山田太郎、早くも金メダル?																		
いつ	7日午後4時ころ	7日午後																		
だれが	西北大2年生 山田太郎さん	今年4月の日本選手権百メートル自由型で優勝した、五輪出場候補で西北大2年生 山田太郎さん																		
だれを	同区に住む小学2年生の 娘（7）	娘																		
取材先	都島署（警察）の発表 による	山田選手による （インタビュー）																		
<p>3 全国版と地域版の記事や見出しの違いとその理由をまとめる。</p> <p>（全国版は勝った大阪桐蔭のことが多く書いてあるなあ。 地方版は負けた日田林工のことばかり書いてあるなあ。 同じ試合なのになぜ伝え方が違うのかなあ。</p>	分	<ul style="list-style-type: none"> 一般紙と地方紙の新聞記事を音読することで記事内容を理解しやすくする。 観点ごとに違いを表にまとめることで違いに気付かせる。 <table border="1"> <tr> <td>観点</td> <td>全国版</td> <td>地方版</td> </tr> <tr> <td>見出し</td> <td>勝ったチーム</td> <td>負けたチーム</td> </tr> <tr> <td>写真</td> <td>勝ったチーム</td> <td>勝ったチーム</td> </tr> <tr> <td>キャプション</td> <td>勝ったチーム</td> <td>勝ったチーム</td> </tr> <tr> <td>読者</td> <td>いろいろな人</td> <td>負けたチームの県民</td> </tr> <tr> <td>まとめ</td> <td colspan="2">見出しや記事には、作り手の意図が表れている</td> </tr> </table> <p>【書く】一般紙と地方紙の記事の違いを、観点別にとらえてまとめることができている。（記述内容・発言）</p>	観点	全国版	地方版	見出し	勝ったチーム	負けたチーム	写真	勝ったチーム	勝ったチーム	キャプション	勝ったチーム	勝ったチーム	読者	いろいろな人	負けたチームの県民	まとめ	見出しや記事には、作り手の意図が表れている	
観点	全国版	地方版																		
見出し	勝ったチーム	負けたチーム																		
写真	勝ったチーム	勝ったチーム																		
キャプション	勝ったチーム	勝ったチーム																		
読者	いろいろな人	負けたチームの県民																		
まとめ	見出しや記事には、作り手の意図が表れている																			

<p><本時のまとめをする></p> <p>4 本時の学習を振り返り，分かったこと，気付いたこと，思ったことをまとめる。</p> <p><児童の姿></p> <p>○どんな人が読むかによって，見出しや記事は決まってくるんだね。</p> <p>○新聞の見出しや記事は書いた人の気持ちが出ているんだね。</p>	3分	<p>・次時はテーマに対する自分の思いを新聞に書くことを伝える。</p>
---	----	--------------------------------------

板書計画



6 本時の展開 (3/8)

(1) ねらい

立場を変えて新聞を書くための必要な材料について調べることができる。

(2) 準備

教科書 (学校図書5年下) , ワークシート (サンプル新聞) , 参考図書, ノートPC, 自作プレゼンテーション

(3) 展開

学習活動	時間	指導上の留意点及び評価
<p><本時の課題を把握する></p> <p>1 立場を変えて書く新聞作りに取り組むことを知らせる。</p> <p>自分の思いを新聞に書いてみよう。</p> <p>2 テーマを決める。</p> <p>(例)</p> <p>○自転車通学を認めるべきである</p> <p>○宿題を廃止するべきである</p> <p>○犬は好きか嫌いか</p> <p>○レジャーに行くなら海か山か</p>	10分	<p>・第1時で提示したサンプル新聞を再び提示することで，活動のイメージをつかめるようにする。</p> <p>・第1時に立場を決める練習で投げかけたテーマの中で意見が多く出たものがあれば，そのテーマに決める。なければここでいくつか投げかけその中から決める。</p> <p>・どちらの立場にするか迷う児童も見られると思われるので仮に決めて後で変更してもよいことを伝える。</p>
<p><課題を追究する></p> <p>3 テーマについて調べる。</p> <p>・本で調べたい。</p> <p>・インターネットで調べたい。</p> <p>・人に聞いてみよう。</p>	32分	<p>発問：テーマについて，両方の立場から新聞に書けるように調べてみよう。</p> <p>・どの児童も円滑に書くことができるよう，教師があらかじめ参考図書や参考サイトを準備しておき，適切に助言する。</p>

		【関】 テーマについて進んで調べてようとしている。 (調査内容・様子)
<p><本時のまとめをする></p> <p>4 本時の学習を振り返り、分かったこと、気付いたこと、思ったことをまとめる。</p> <p><児童の姿></p> <p>○もっと調べてみたいな。 ○家の人にも聞いてみよう。</p>	3分	<ul style="list-style-type: none"> 調べきれない場合やもっと調べたい場合は、別の時間や家庭学習等で調べてみるよう伝える。 次時は調べたことを持ちより、新聞に書くことを伝える。

板書計画

テーマ
「○○小学校は自転車通学を
みとめるべきである」

調べる方法

- ・本
- ・インターネット
- ・家族に聞く

自分の思いを新聞に書いてみよう

6 本時の展開 (4/8)

(1) ねらい

自分の立場を決め、自分の思いと異なる立場から新聞を書くことができる。

(2) 準備

教科書(学校図書5年下)、新聞用紙、ワークシート(「ふりかえりカード」)、図表や写真、ノートPC、自作プレゼンテーション

(3) 展開

学習活動	時間	指導上の留意点及び評価
<p><本時の課題を把握する></p> <p>1 調べた情報を全体で共有し、立場を決めて書き始めることを知る。</p> <p>立場を決めて新聞を書き始めよう。</p> <p>2 情報を共有する。</p>	13分	<ul style="list-style-type: none"> 相互の立場の考えやその理由を出し合うことで、書きやすくなるという活動の趣旨を伝える。 全体場で、相互の立場からその考えや理由を出し合う場を設け、教師が模造紙に整理する。 自分の考えをもつためのテーマなので、自分の好みや思いつき、一方的な考えや理由だと、相手に自分の思いが十分に伝わらないことを伝える。
<p><課題を追究する></p> <p>3 自分の立場を決める。</p> <p>・どっちの立場で書こうかな。 ・最初思ったのと立場を変えたいな。</p> <p>4 用紙の右側に自分の思いと異なる立場から新聞を書く。</p>	30分	<p>発問：新聞を書くにあたり、自分の立場を決めよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の立場を決めるにあたっては、相互の立場から出された考えや理由を参考にするように伝える。 前時に決めた自分の立場を変えてもよいことを伝える。 相手の立場に立って考えることの大切さを身に付けるため、先に自分の思いと異なる立場から書くという本実践の趣旨を話し、納得してから書けるようにする。 第1時に確認した左記の条件を守って書くように伝える。 児童の意欲や実態に対応するため、新聞の書式は無地のもの、マス目の幅が広いもの、マス目の幅が狭いものを用意し、児童が選択できるようにする。 作業の効率化を図るため、使用する図表や写真は、あらか

<ul style="list-style-type: none"> ○思いを端的に表現する大見出しを書く ○三段構成で各段に小見出しと図表や写真を配置する ○書きたい新聞との関連が深い図表や写真を三つ選ぶ ○図表や写真にはキャプション（簡単な説明）を付ける ○「ひとこと」の欄にその立場での自分の思いを書く 	分	<p>じめ適切と思われるもの五種類をカラー印刷しておき、その中から三種類を選んで貼るようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早く書けた児童には、観点に基づいて自分の新聞を見直すように伝える。 <p>【書】 自分の思いと異なる立場から、相手によりよく伝わるような新聞を書いている。 (記述内容・振り返りカード)</p>
<p><本時のまとめをする></p> <p>5 本時の学習を振り返り、分かったこと、気付いたこと、思ったことをまとめる。</p> <p><児童の姿></p> <ul style="list-style-type: none"> ○相手の立場で書くのは難しかった。 ○相手の立場で書くことで気持ちが変わった。 	2 分	<ul style="list-style-type: none"> ・「ふりかえりカード」に本時の自己評価と感想を書く時間をとる。 ・新聞が書ききれない場合は、別の時間や家庭学習等で書いてみるよう伝える。 ・次時は自分の立場から書くことを伝える。

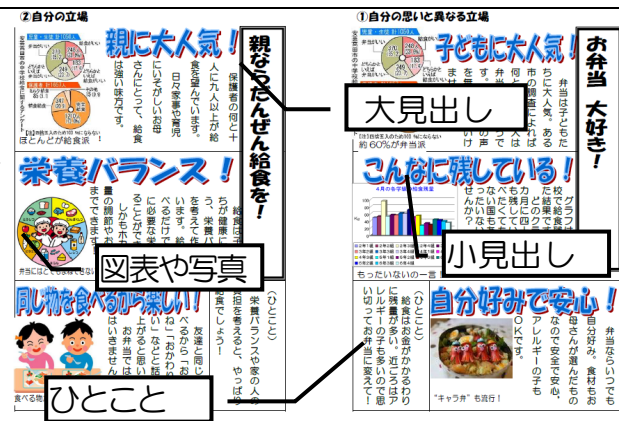
板書計画

自分の思いと異なる立場から書く

自分の思いと異なる立場から書く

□□の立場

○○の立場



立場を決めて新聞を書き始めるよう

6 本時の展開 (5 / 8)

(1) ねらい

自分の立場から新聞を書くことができる。

(2) 準備

教科書 (学校図書5年下), 新聞用紙, ワークシート (「ふりかえりカード」), 図表や写真

(3) 展開

学習活動	時間	指導上の留意点及び評価
<p><本時の課題を把握する></p> <p>1 自分の立場で新聞を書くことを知らせる。</p> <p>自分の立場で新聞を書こう。</p>	3 分	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に書いた、自分の思いと異なる立場も意識し、自分の思いを明らかにして書くよう伝える。
<p><課題を追究する></p> <p>2 用紙の左側に自分の立場で書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・右側に異なる立場から書いたものがあるから、比べられるので書きやすいな。 ・異なる考えの人にも私の考えを分かってほしい。 	40 分	<p>発問：用紙の左側に自分の思いを書きなさい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前々時に確認した条件を守って書くように伝える。 ・早く書けた児童には、観点に基づいて自分の新聞を見直すように伝える。 <p>【書】 自分の立場から、相手によりよく伝わるような新聞を書いている。(記述内容・振り返りカード)</p>

<p><本時のまとめをする></p> <p>3 本時の学習を振り返り、分かったこと、気付いたこと、思ったことをまとめる。</p> <p><児童の姿></p> <p>○相手の立場のことも考えて書けた。</p> <p>○これで違う考えの人にも分かってもらえるだろう。</p>	2 分	<ul style="list-style-type: none"> 「ふりかえりカード」に本時の自己評価と感想を書く時間をとる。 新聞が書ききれない場合は、別の時間や家庭学習等で書いてみるよう伝える。 次時は班で交流することを伝える。
---	--	---

板書計画

異なる立場も意識して書く

自分の立場で書く

自分の立場で新聞を書く

自分の思いを明らかにしながら書く

6 本時の展開 (6/8)

(1) ねらい

新聞を班で交流したことを生かし、深まった自分の思いを、もう一度端的に書くことができる。

(2) 準備

教科書 (学校図書5年下), ワークシート (見直しチェックリスト, 「ふりかえりカード」), 新聞用紙, 図表や写真, 二色の付箋, ノートPC, 自作プレゼンテーション

(3) 展開

学習活動	時間	指導上の留意点及び評価
<p><本時の課題を把握する></p> <p>1 新聞を交流し自分の思いをまとめて書くことを知る。</p> <p>班で交流し、自分の思いをまとめて書こう。</p>	2 分	<ul style="list-style-type: none"> 前時まで書いた、相互の立場で書いた新聞を班で交流し、自他の新聞を見比べること、自分の思いをもう一度短く書くことを伝える。
<p><課題を追究する></p> <p>2 自己評価する。</p> <p>○自分の思いを書く力</p> <p>○図・表・写真の使い方</p> <p>○文章のきまり</p> <p>3 班で交流する。</p> <p>・○○君の新聞は分かりやすいな。</p> <p>・△△さんの新聞は説得力があるのでまねしたいな。</p>	28 分	<ul style="list-style-type: none"> 自分の作品が推敲できるよう、ワークシート「見直しチェックリスト」で左記の観点に基づいて自己評価する時間をとる。 <p>発問：班の中で友達の新聞を読み合いなさい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 交流で多くの視点が得られるよう、班で作品を読み合い、自己評価と同じ観点に基づいて相互評価する時間をとる。 班の中に相互の立場の児童がいるように配慮する。 次の活動の参考にできるよう、同じ観点に基づいてコメントやアドバイスを付箋に書き作品に貼るようにする。 <p>【書】自他の新聞を見比べ、よい点や改善点を書けている。 (記述内容)</p>

自分の思いをまとめて書こう。		
<課題を追究する> 2 新聞を仕上げる。 ○200字程度、縦書き ○小見出し、図表や写真は一つ ○本当に伝えたいことだけ ・異なる立場にもよいところがあるから迷うなあ。 ・考えが変わったよ。	41分	発問：自分の思いをまとめて書きなさい。 ・前時に書き始めているので、この時間内に完成させることを伝える。 ・早く仕上がった児童には、効果的な見出しやキャプションの一覧を渡し、再検討するように伝える。 【書】最終的な立場を決断し、思いを短く書いている。(記述内容・振り返りカード)
<本時のまとめをする> 3 本時の学習を振り返り、分かったこと、気付いたこと、思ったことをまとめる。 <児童の姿> ○二度書いたことで自分の思いがはっきりしてきたな。 ○テーマに対する自分の考えが十分に書けたな。	2分	・「ふりかえりカード」に本時の自己評価と感想を書く時間をとる。 ・次時はできあがった新聞をクラス間で互いに鑑賞することを伝える。

板書計画

- ・自分の考えをさらに強める
- ・異なる立場のよさを自分の考えの中に取り入れる
- ・異なる立場に自分の考えを変える

思いをまとめて書こう

6 本時の展開 (8/8)

(1) ねらい

できあがった新聞を、互いに読み鑑賞することができる。

(2) 準備

教科書(学校図書5年下)、隣のクラスの新聞(思いをまとめて書く)を印刷したもの、ワークシート(鑑賞・振り返り)

(3) 展開

学習活動	時間	指導上の留意点及び評価
<本時の課題を把握する> 1 新聞を鑑賞することを知る。 新聞コンテストをしよう。	2分	・できあがった新聞を鑑賞し、よい表現から学ぶことを伝える。
<課題を追究する> 2 新聞を鑑賞し投票する。 ○立場部門A 相手の立場の考えも取り入れ	23分	発問：各部門のよく書けた人を選んで書きなさい。 ・隣のクラスの新聞を印刷したものを配り、読む時間をとる。 ・公正に投票できるように、作品に記名はなく作品番号で投票するように配慮する。

<p>ながらまとめている</p> <p>○立場部門 B 自分の思い（立場やその理由）をはっきり書けている</p> <p>○図表や写真部門 図表や写真を上手に使っている</p> <p>○見出し・キャプション部門 相手に強く訴えるような見出しやキャプションが書けている</p> <p>・○○君の新聞はどちらの立場も説得力があるな。</p> <p>・△△さんは見出しやキャプションの付け方が上手なのでまねしたいな。</p>	<p>分</p>	<p>・鑑賞用カードに、各部門 1 名ずつの作品番号を書きこむようにする。</p> <p>・得票の多かったものを部門賞として後日発表することを伝える。</p>
<p>3 これまでに書いた新聞を台紙に貼付する。</p>	<p>10分</p>	<p>・台紙の上に相互の立場で書いた新聞を貼付するようにする。</p> <p>・思いをまとめて書いた新聞については、決断を形で示すため、自分の考えを変えなかった場合は左上方に、異なる考えに変えた場合は右上方に貼るようにする。</p>
<p><本時のまとめをする></p> <p>4 本単元の学習を振り返り、分かったこと、気付いたこと、思ったことをまとめる。</p> <p><児童の姿></p> <p>○新聞を書く学習を通して、自分の思いが書けるようになった。</p> <p>○図表や写真を上手に使うと自分の言いたいことが相手によく伝わるのが分かった。</p>	<p>10分</p>	<p>・本単元を振り返り、①自分の思いを書く力は付いたか②図表や写真を活用する力は付いたか、という観点で評価と感想を書く時間をとる。</p>

板書計画

<p style="text-align: right;">新聞コンテスト</p> <p>☆立場部門 A 相手の立場の考えも取り入れながらまとめている</p> <p>☆立場部門 B 自分の思い（立場やその理由）をはっきり書けている</p> <p>☆図表や写真部門 図表や写真を上手に使っている</p> <p>☆見出し・キャプション部門 相手に強く訴えるような見出しやキャプションが書けている</p>
